

# 2020年9月期 第3四半期 決算説明資料

2020年8月

フィンテック グローバル株式会社

(東証マザーズ : 8789)

<http://www.fgi.co.jp/>

# 目次

2020年9月期 第3四半期 連結業績概況	2
四半期業績推移（連結）	3
セグメント別業績	4
投資銀行事業セグメント一業務別売上高、売上総利益	6
メツツアビレッジ賃貸方法の変更	7
エンタテインメント・サービス事業 業績等の推移	8
メツツアにおける新型コロナウイルス感染拡大への対応	9
集客に向けた取組み	10
投融資残高の推移（FGI,FGT合計）	11
受託資産残高の推移	12
連結貸借対照表	13
連結損益計算書	14
業績予想について	15
連結経営指標等の推移	16
会社概要	17

# 2020年9月期 第3四半期 連結業績概況

(単位：百万円)

	2019/9期 3Q累計	2020/9期 3Q累計	増減額
売上高	6,689	5,196	△ 1,492
売上総利益	2,275	1,670	△ 605
営業利益	△1,307	△893	+413
経常利益	△1,445	△989	+456
親会社株主に帰属する四半期純利益	△1,210	△1,045	+164
償却前営業利益	△831	△337	+494

・ 償却前営業利益 = 営業利益 + 原価・販管費に含まれる減価償却費及びのれん償却費

## 売上高

### 臨時休園と投資回収の遅れにより、減収

- コロナ禍により、ムーミンバレーパークが80日間臨時休園。
- 投資銀行事業では、コロナ禍の影響を受け、投資回収の遅れあり。  
航空機アセットマネジメントは堅調に推移。

## 売上総利益

### 企業投資の減損等の影響が大幅減少。

- 前3Q累計366百万円の企業投資の減損等が18百万円に減少。

## 営業損益

### 販管費28%減少。営業損益改善。

- メツツアは来園者数減に対応した運営体制とし、コストの圧縮や運転資金の確保が進む。
- 前期の開業準備費用、その他一時的費用がなくなり、投資銀行事業でも費用削減。

## 親会社株主に帰属する 四半期純損益

### ムーミンバレーパークの休園中の固定費等292百万円を特別損失に計上。

なお、(株)ムーミン物語は、ライセンサーや株主・金融機関等ステークホルダーの協力・支援を受け、長期化するコロナ禍での事業継続体制を強化

# 四半期業績推移 (連結)

(単位：百万円)

	2019/9期						2020/9期				直前四半期 (2Q) 比	前3Q累計比
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	4Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計	増減額 (増減率)	増減額 (増減率)
売上高	1,020	2,257	3,411	6,689	2,486	9,175	2,209	2,060	926	5,196	△ 1,133 (△ 55.0%)	△ 1,492 (△ 22.3%)
売上総利益	455	495	1,324	2,275	669	2,944	696	604	368	1,670	△ 235 (△ 39.0%)	△ 605 (△ 26.6%)
営業利益	△ 747	△ 720	160	△ 1,307	△ 356	△ 1,664	△ 258	△ 236	△ 398	△ 893	△ 162 (-)	+413 (-)
経常利益	△ 804	△ 762	121	△ 1,445	△ 404	△ 1,850	△ 297	△ 263	△ 428	△ 989	△ 165 (-)	+456 (-)
親会社株主に 帰属する四半期 (当期) 純利益	△ 599	△ 645	34	△ 1,210	△ 376	△ 1,586	△ 284	△ 296	△ 464	△ 1,045	△ 167 (-)	+164 (-)
償却前営業利益	△ 679	△ 568	416	△ 831	△ 104	△ 935	△ 5	△ 23	△ 307	△ 337	△ 284 (-)	+494 (-)

・償却前営業利益は、営業利益に売上原価、販売費及び一般管理費に含まれる減価償却費及びのれん償却費を足し戻して算出。

# セグメント別業績 - 1

(単位：百万円)

報告セグメント		2019/9期						2020/9期				直前 四半期 (2Q) 比	前3Q 累計比
		1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	4Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計		
投資銀行事業	売上高	405	975	1,230	2,611	782	3,393	555	849	497	1,901	△351	△709
	売上総利益	249	130	466	846	293	1,139	316	403	325	1,045	△77	+198
	営業利益	△128	△276	26	△378	△100	△478	△71	36	26	△8	△9	+369
公共コンサルティング事業	売上高	182	263	148	593	79	673	64	62	43	170	△19	△423
	売上総利益	88	149	78	316	47	364	33	34	25	93	△9	△222
	営業利益	10	65	△3	72	6	79	△7	△5	△12	△25	△7	△98
エンタテインメント・サービス事業	売上高	484	1,078	2,122	3,685	1,721	5,407	1,647	1,202	448	3,298	△754	△387
	売上総利益	131	228	808	1,168	376	1,545	376	190	50	617	△140	△551
	営業利益	△392	△299	346	△345	△78	△423	△18	△142	△253	△414	△111	△68
その他	売上高	7	13	3	24	-	24	-	-	-	-	-	△24
	売上総利益	7	13	3	24	-	24	-	-	-	-	-	△24
	営業利益	△4	0	△8	△12	-	△12	-	-	-	-	-	+12
調整額 (セグメント間取引消去又は 全社費用)	売上高	△60	△73	△93	△226	△97	△324	△57	△54	△62	△173	△8	+53
	売上総利益	△21	△26	△32	△80	△48	△128	△29	△24	△32	△86	△8	△5
	営業利益	△232	△210	△201	△644	△185	△829	△161	△124	△158	△445	+34	+199
連結P L計上額	売上高	1,020	2,257	3,411	6,689	2,486	9,175	2,209	2,060	926	5,196	△1,133	△1,492
	売上総利益	455	495	1,324	2,275	669	2,944	696	604	368	1,670	△235	△605
	営業利益	△747	△720	160	△1,307	△356	△1,664	△258	△236	△398	△893	△162	+413
関連事項		2018/11 メッツァ ビレッジ 開業	2019/3 ムーミン パレーパーク 開業			ジオプラン・ ナムテック、 アダコテック を連結除外			ムーミンパ レーパーク 16日間 臨時休園	ムーミンパ レーパーク 64日間、 メッツァ ビレッジ 44日間 臨時休園			

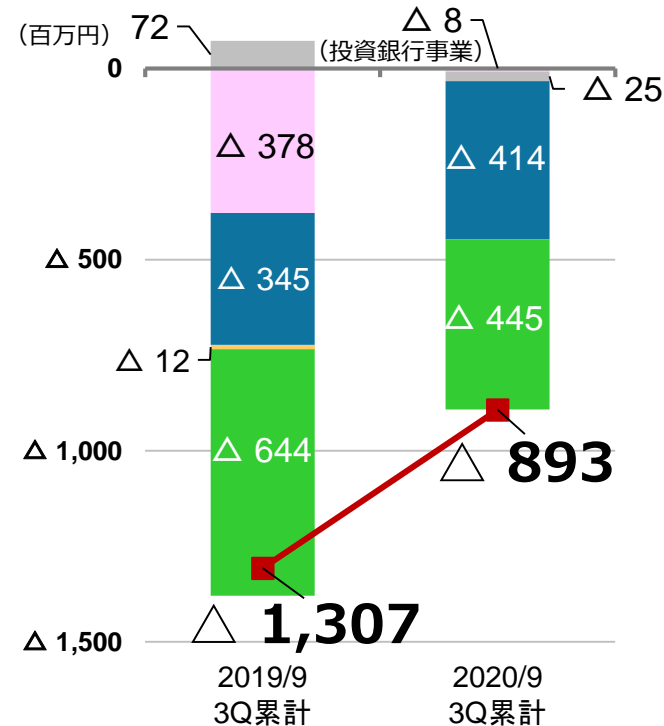
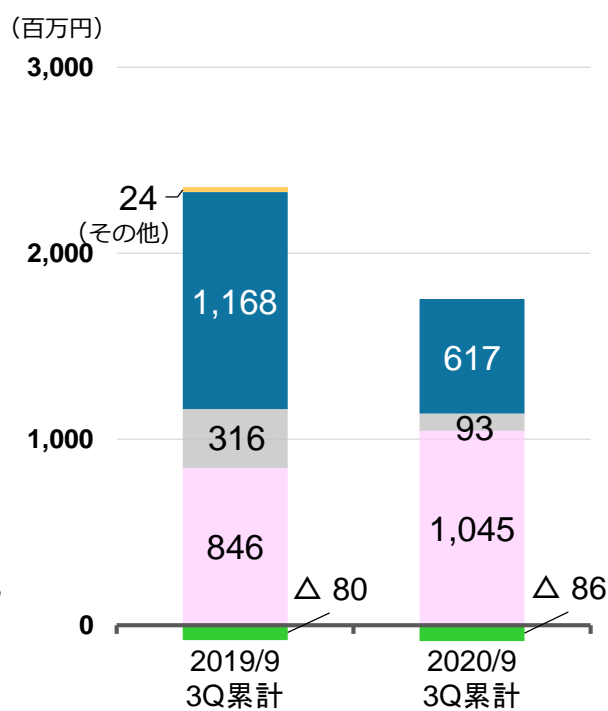
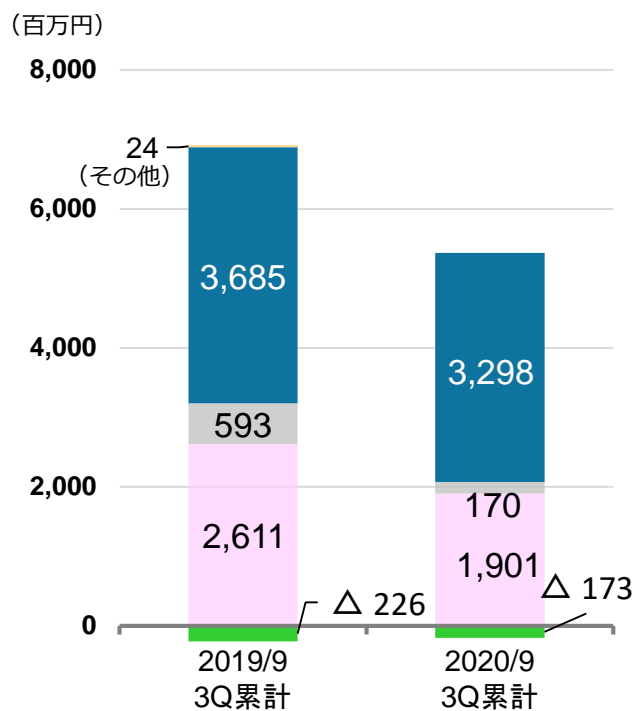
- 各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高です。
- 調整額（営業利益）（2020年9月期3Q累計は△445百万円）には、セグメント間取引消去（2020年9月期3Q累計は174百万円）及び報告セグメントに配分していない全社費用（2020年9月期3Q累計は△619百万円）を含む。全社費用は合理的な配分が難しいなどの理由により報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

# セグメント別業績 - 2

## 売上高

## 売上総利益

## 営業利益

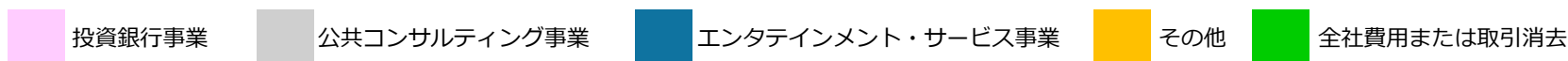


**6,689**    **5,196**  
**22.3%減**

**2,275**    **1,670**  
**26.6%減**

ムーミンバレーパークの臨時休園期間中の  
固定費等292百万円は、特別損失に計上

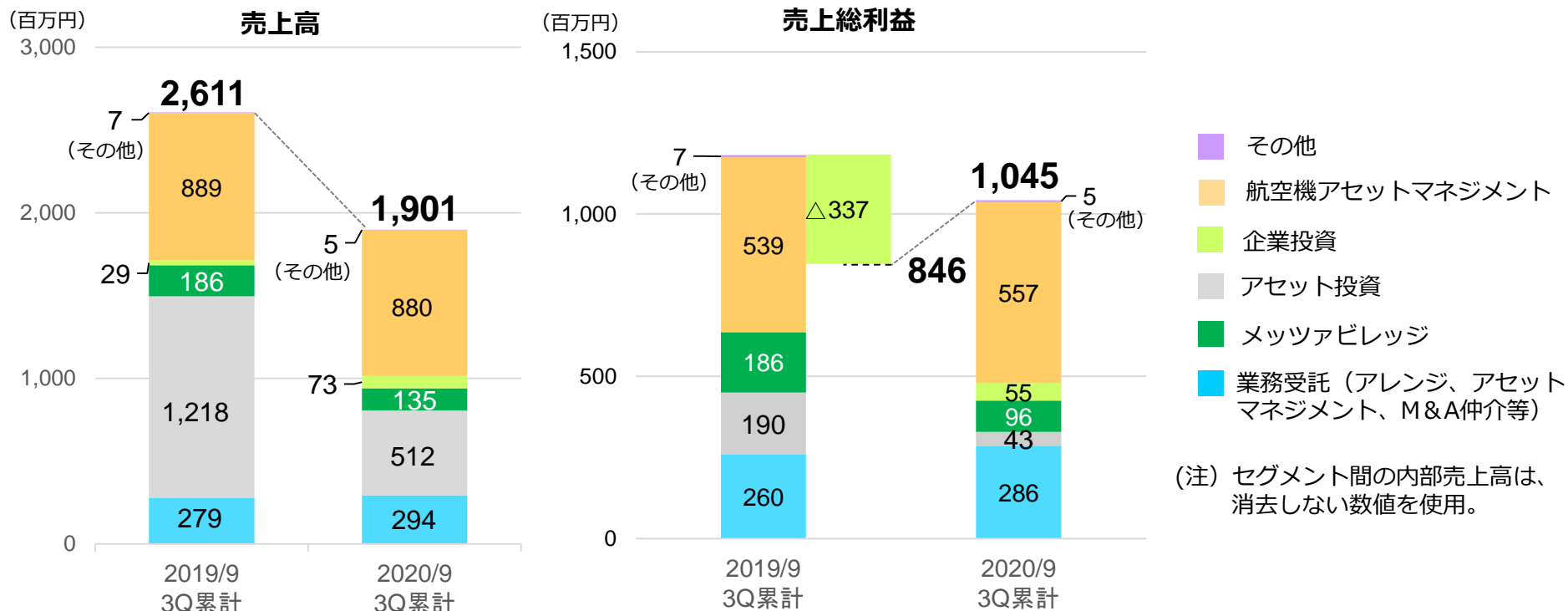
(注) セグメント別内訳は、他のセグメントとの取引を消去しない数値を使用。



# 投資銀行事業セグメントー業務別売上高、売上総利益

**アセットマネジメント（AM）業務受託の不動産案件がクローズし、業務受託売上が増加。航空機AMも堅調推移。企業投資減損等の影響がなくなり、売上総利益は前3Q比23.5%増。**

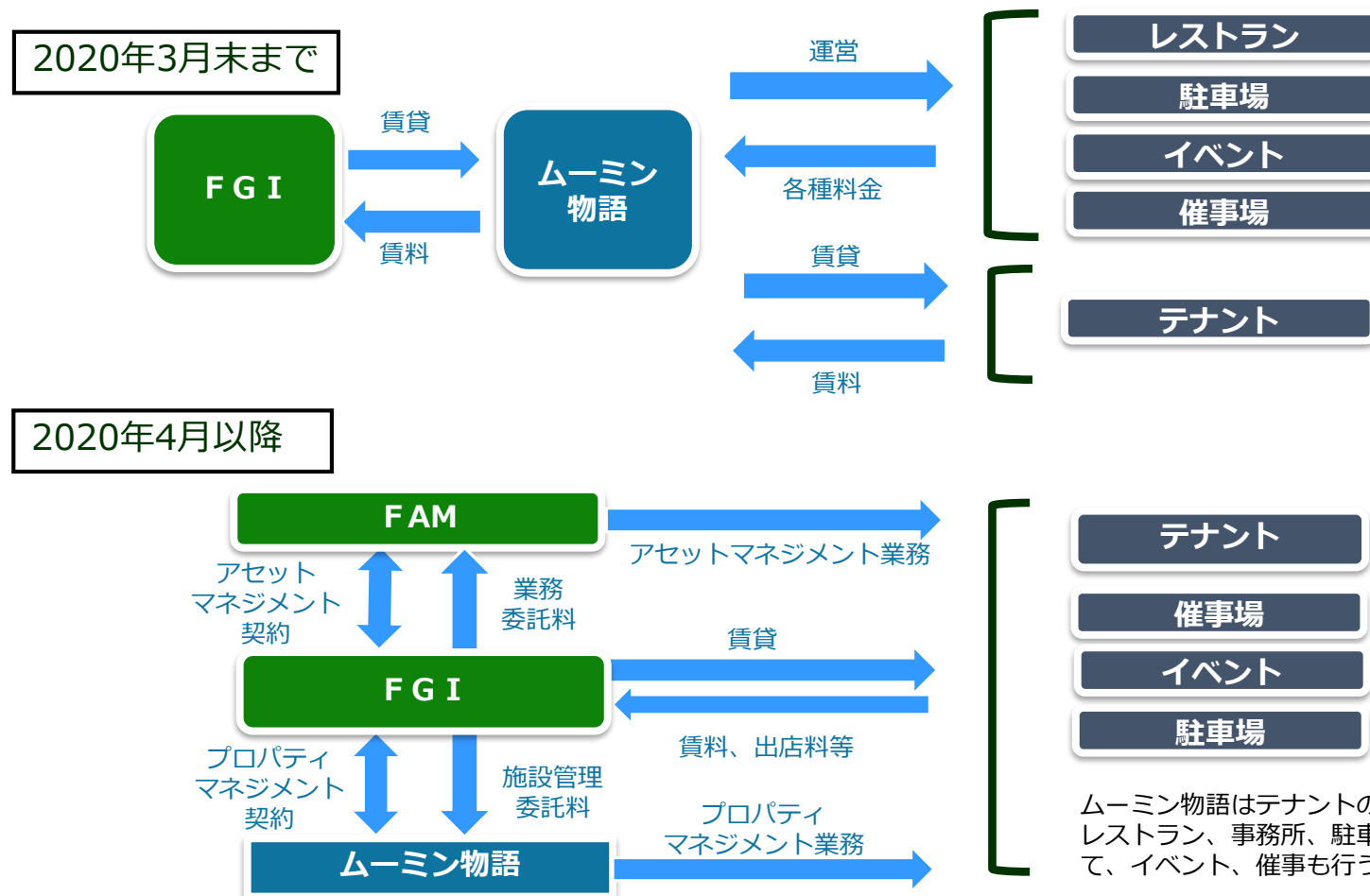
- ・ **業務受託** 不動産M&A案件を実行し、AM成功報酬、信託受益権仲介等により売上を計上。
- ・ **アセット投資** 上記業務受託の不動産M&A案件はエグジットしたものの投資収益計上は4Q予定。他の案件も進捗が遅れる。
- ・ **メツァビレッジ** 平日駐車料無料化(2019年11月～)により減少。
- ・ **企業投資** 前3Qのファンド投資の減損等による影響がなくなる。2Qに投資回収があり、売上高、売上総利益とも増加。
- ・ **航空機アセットマネジメント** 大きなコロナ禍の影響を受けず、堅調に推移。



# メッツァビレッジ賃貸方法の変更

## マスターリースからテナントへの直接賃貸に変更。価値向上への動きを加速。

商業施設であるメッツァビレッジ (MV)は、従来FGIがムーミン物語にマスターリースし、同社が各テナントにサブリースしてきたが、施設開発・誘致によるバリューアップとその後の投資回収を円滑に行う体制整備のため、2020年4月よりFGIが直接各テナントに賃貸したうえで、FGIの業務委託により、FAMがアセットマネジメントを、ムーミン物語がプロパティマネジメントを行う体制に変更。



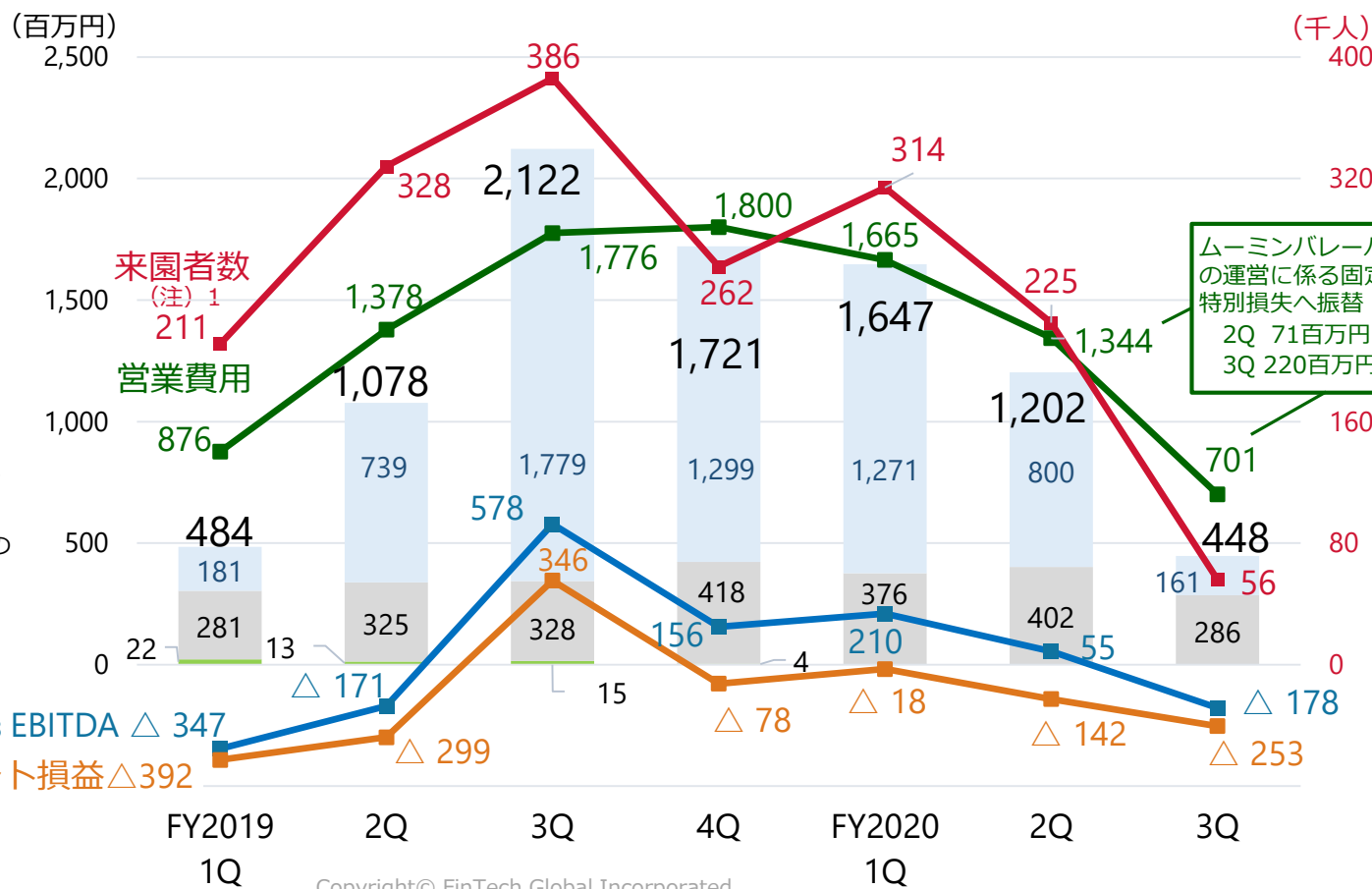
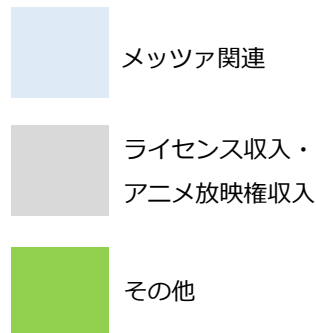


# エンタテインメント・サービス事業 業績等の推移（四半期）

## 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ムーミンバレーパークは2～3Qに80日間の臨時休園

- ・メツァ関連 ムーミンバレーパークが2Qに16日間、3Qに64日間臨時休園（営業は6/4～30の27日間）し、売上高は前3Q累計比17.3%減の2,232百万円。売上減に対応し、運営部門、管理部門それぞれでコスト削減を進める。
- ・ライセンス関連 ムーミンバレーパーク開業による注目度の拡大により、2019年10月以降に23の新規契約先を獲得。ライセンシーの主要販路である大型商業施設休業などの影響を受けたが、オンライン販売など今後需要が伸びると予想される販路や商品分野を強化。売上高は前3Q累計比13.9%増の1,065百万円。

### 売上高 (注) 2



ムーミンバレーパークの運営に係る固定費は特別損失へ振替  
 2Q 71百万円  
 3Q 220百万円

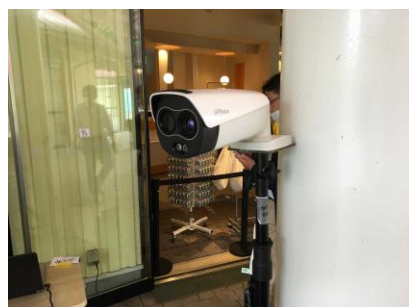
(注)1 FY2019/1Qの営業日数は52日。プレオープンは含まず。  
 2 売上高は他の報告セグメントとの取引を消去しない数値を使用。  
 3 EBITDAは、営業利益に売上原価、販売費及び一般管理費に含まれる減価償却費及びのれん償却費を足し戻して算出。

(注) 3 EBITDA △347  
 セグメント損益△392

# メッツァにおける新型コロナウイルス感染拡大への対応

費用削減、資金調達、感染拡大防止などの施策を推進。事態の長期化に備える。

項目	内容
財務・ コストコントロール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初予算に基づく費用削減に加え、更なる削減を推進。</li> <li>・(株)ムーミン物語は制度融資を活用し300百万円を借入。</li> <li>・(株)ムーミン物語・地域SPCの金融機関借入については、返済猶予等の支援を得る。事態の長期化を見込み、今後の返済についても柔軟な対応を要請、協議中。</li> <li>・(株)ムーミン物語は各ステークホルダーに支援・協力を要請。 FGI・・・4億円の融資支援や賃料等の支払猶予実施済。 ムーミン・キャラクターズ・ライセンサーである同社は、引き続き事業継続に向け全面的に協力。 飯能市・・・ふるさと納税返礼品への商品供給を継続・拡充。</li> </ul>
テナント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休園期間中のメッツァビレッジのテナントの賃料を一部減免。</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設運営スタッフは臨時休園中、一時帰休。</li> <li>・雇用調整助成金等を申請（申請ベースで約6千万円）。4Qから助成金受領が始まる。</li> </ul>
感染拡大対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3密を徹底的に回避。「安心宣言」を策定し、感染拡大防止。</li> </ul>



入園時にサーモグラフィで検温  
一定数以上の入園制限



ソーシャルディスタンスを保ったレジ列や席配置  
レジなど対面する箇所にはパネルを設置  
キャッシュレス対応を充実



屋内は、窓、出入口を開放して換気  
こまめな清掃、消毒作業、ゴミ回収を実施

## 「ムーミンバレーパーク安心宣言」



※埼玉県では、感染拡大防止を徹底するガイドラインを「彩の国『新しい生活様式』安心宣言」として作成して取り組むことを推奨

# 集客に向けた取組み

営業再開後に、魅力あふれるイベントを始動

「メッツァ アンブレラスカイ・デザインプロジェクト2020」を開催中！



メッツァビレッジ  
4/8～5/21 臨時休園

5/22～8/30  
「森と、湖と、アンブレラと」

2020年3月 4月 5月 6月 7月 8月

3/14

ムーミンバレーパーク  
1ST ANNIVERSARY



エンマの劇場で「勇気を知った少女～ムーミン谷の仲間たちより～」を開始

- チケット内容・料金を改定  
(チケット内容改定の概要)
- ・1デーパスで利用できる施設の追加
  - ・前売りチケットの値引き販売
  - ・年間パスポートの販売  
(ムーミン公式サイトで8/9まで)

ムーミンバレーパーク  
3/2～3/13 3/28～6/3 臨時休園

6/4～8/30

ムーミン谷とアンブレラ



メッツァビレッジの「森と、湖と、アンブレラと。」と合わせて、約2000本の色とりどりの傘が約300mに渡って広がる

7/18～8/30  
ニョロニョロの  
雷スブラッシュ！



大量のミストを降らせ“涼”を楽しむイベント  
ニョロニョロたちと一緒に、雨（ミスト）を浴びる

8/8～8/16  
「ムーミンの日」  
スペシャルウィーク



作者トーベ・ヤンソンの誕生日（8月9日）である「ムーミンの日」を祝い、様々な企画を実施

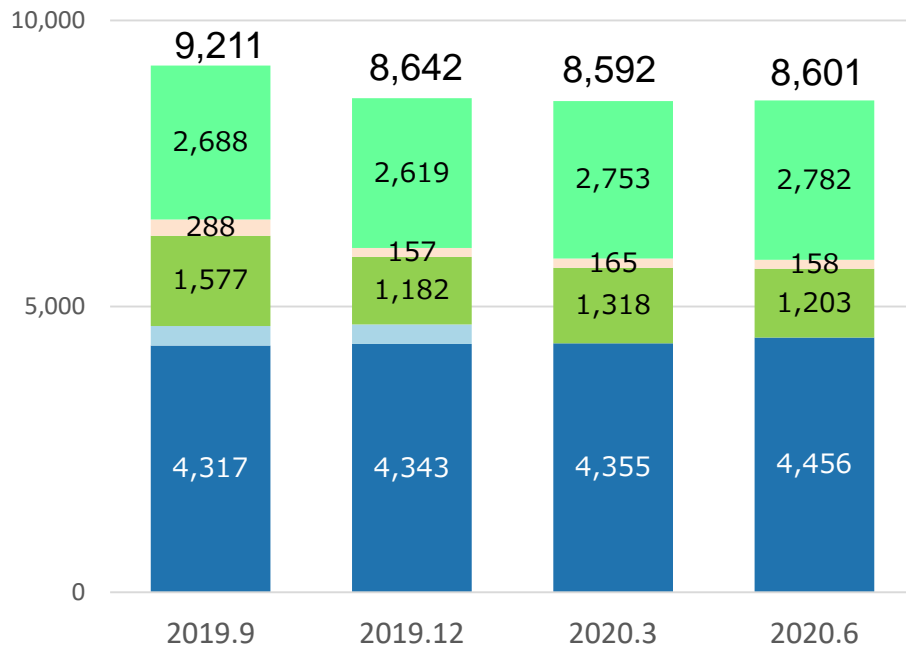
# 投融資残高の推移 (FGI,FGT合計)

2020年9月期3Q (2020/4~2020/6) の主な変動要因

- ・プリンシパルインベストメント 成長企業へ新規投資を実行して増加。
- ・ベンチャーキャピタルファンド FGFの評価損、為替換算の影響で減少。
- ・企業融資 関連会社に対する運転資金の貸付金を一部回収。  
SGIに出資する子会社SPCへの貸付を一部回収。
- ・不動産等 (メツァ) メツァビレッジ賃貸方法変更に伴い、FGIがムーミン物語より駐車場リース資産を取得。

## 当社(FGI)、フィンテックグローバルトレーディング (FGT) の投融資合計額 (子会社への出資を含む)

(単位：百万円)



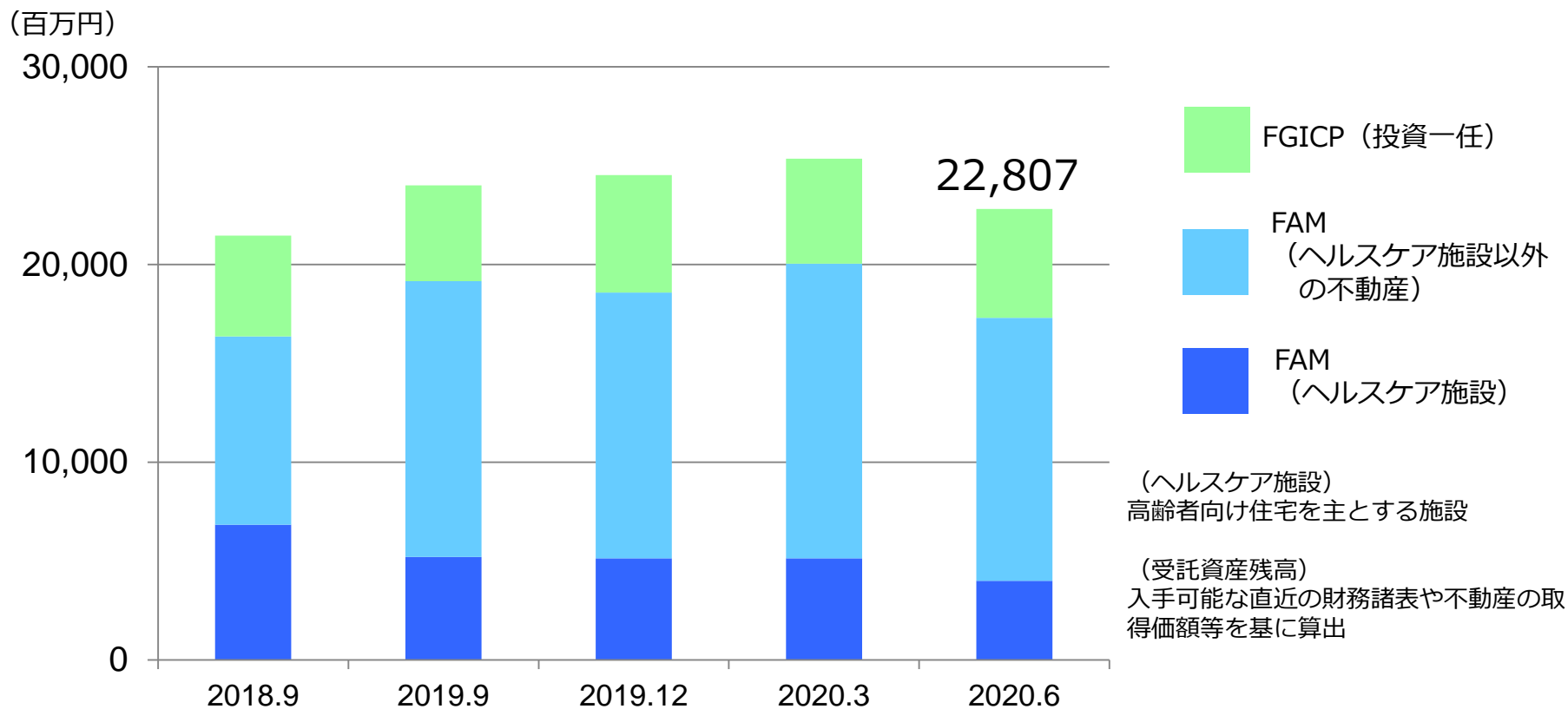
(注) FGI、FGT間の出資・貸付は、含めず。

- プリンシパルインベストメント**  
ベンチャーキャピタルファンドへの投資を除く営業投資有価証券、投資有価証券、関係会社株式、関係会社出資金の合計額。
- ベンチャーキャピタルファンド**  
FinTech GIMV Fund (FGF)、他2ファンドへの投資
- 企業融資**  
営業貸付金、子会社への短期貸付金の合計額。全額引当している債権は含めないが、子会社貸付は全額計上。
- 不動産等(投資銀行事業)**  
投資銀行事業における運用不動産、開発用不動産。BSでは仕掛販売用不動産・販売用不動産に計上。
- 不動産等(メツァ)**  
メツァにおける不動産。  
メツァビレッジの不動産は仕掛販売用不動産・販売用不動産に計上。ムーミンバレーパークの土地は、法的には地域SPCに譲渡しているが会計上は当社固定資産に計上しているため、当該金額に含めている。

第2四半期に組成したFGIが出資する不動産M&A案件\*、およびヘルスケア施設への投資案件が当第3四半期にエグジット。これによりFAMの受託資産残高が減少。

## \*不動産M&A

企業の事業等の売却・取得を目的とする一般的なM&Aに対し、主に不動産を主要資産とする法人の株式売却・取得を目的として行われるM&A。法人所有の不動産のみを売却・購入の対象とするのではなく、法人の株式の売買によりその法人が所有する不動産その他の資産・負債が株式の売主（旧株主）から買主（新株主）に移転される。



# 連結貸借対照表

## 資産の部

	19年9月期	20年9月期 第3四半期	増減
流動資産	10,438,589	8,861,461	△ 1,577,127
現金及び預金	2,533,187	2,022,051	△ 511,136
受取手形・売掛金	727,499	497,819	△ 229,679
1 営業投資有価証券	1,359,941	1,268,465	△ 91,476
営業貸付金	548,625	518,287	△ 30,337
2 販売用不動産	4,211,988	3,997,927	△ 214,061
商品	208,577	300,816	92,238
3 その他	948,410	349,185	△ 599,225
貸倒引当金	△ 99,641	△ 93,091	6,549
固定資産	8,586,424	8,060,716	△ 525,707
4 有形固定資産	7,283,853	6,873,423	△ 410,429
無形固定資産	724,929	656,616	△ 68,313
投資その他の資産	577,641	530,677	△ 46,964
資産合計	19,025,014	16,922,178	△ 2,102,835

1 成長企業2社と不動産M&A案件への新規投資を実行をしたが、ベンチャーキャピタルファンド（FGF）の投資先である創薬関連会社のエグジットによる分配を受けたことや、子会社SPCの不動産信託受益権売却により減少。

2 アセット投資（不動産開発案件）のエグジットにより減少。

3 消費税の還付により、未収消費税等が減少。

4 ムーミンバレーパークにおいて、コンテンツ充実のための投資を実施したものの、建物、内外装等の減価償却により減少。

5 アセット投資（不動産開発案件）がエグジットしたことに伴う借入金返済により減少。

6 ムーミン物語が運転資金を外部借入するも、地域SPCの一部金融機関借入返済により減少。

## 負債の部

（単位：千円）

	19年9月期	20年9月期 第3四半期	増減
流動負債	3,010,093	2,568,011	△ 442,081
支払手形・買掛金	213,256	138,422	△ 74,833
5 短期借入金	373,904	121,459	△ 252,444
1年内返済予定の長期借入金	752,968	762,968	10,000
未払法人税等	98,999	54,502	△ 44,497
賞与引当金	157,244	134,885	△ 22,358
その他	1,413,720	1,355,773	△ 57,946
固定負債	7,141,750	6,873,446	△ 268,304
6 長期借入金	6,086,260	5,998,254	△ 88,006
退職給付に係る負債	94,633	105,000	10,366
その他	960,856	770,191	△ 190,665
負債合計	10,151,843	9,441,457	△ 710,386

## 純資産の部

株主資本	7,480,064	6,434,700	△ 1,045,364
資本金	6,461,911	6,462,062	151
資本剰余金	5,015,924	5,016,132	208
利益剰余金	△ 3,997,770	△ 5,043,494	△ 1,045,723
その他の包括利益累計額	△ 33,493	△ 44,643	△ 11,149
新株予約権	65,837	63,104	△ 2,733
非支配株主持分	1,360,762	1,027,560	△ 333,201
純資産合計	8,873,170	7,480,720	△ 1,392,449
負債純資産合計	19,025,014	16,922,178	△ 2,102,835

# 連結損益計算書

	2019年9月期 第3四半期累計		2020年9月期 第3四半期累計		(単位：千円)			
		売上比		売上比	増減額	増減率		
売上高	1	6,689,057	100.0%	5,196,677	100.0%	△ 1,492,380	△ 22.3%	
売上原価		4,413,854	66.0%	3,526,593	67.9%	△ 887,261	△ 20.1%	
売上総利益		2,275,203	34.0%	1,670,084	32.1%	△ 605,119	△ 26.6%	
販売費及び一般管理費	2	3,582,887	53.6%	2,563,881	49.3%	△ 1,019,006	△ 28.4%	
営業損失 (△)		△ 1,307,684	△ 19.5%	△ 893,796	△ 17.2%	413,887	—	
営業外収益		10,852	0.2%	24,449	0.5%	13,597	125.3%	
営業外費用		148,947	2.2%	119,886	2.3%	△ 29,061	△ 19.5%	
経常損失 (△)		△ 1,445,779	△ 21.6%	△ 989,233	△ 19.0%	456,546	—	
特別利益		182,556	2.7%	5,672	0.1%	△ 176,883	△ 96.9%	
特別損失		32,076	0.5%	3	295,386	5.7%	263,310	820.9%
税金等調整前四半期純損失 (△)		△ 1,295,300	△ 19.4%	△ 1,278,947	△ 24.6%	16,352	—	
法人税等合計		56,552	0.8%	46,753	0.9%	△ 9,798	△ 17.3%	
四半期純損失 (△)		△ 1,351,852	△ 20.2%	△ 1,325,701	△ 25.5%	26,151	—	
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)		△ 141,430	△ 2.1%	△ 279,977	△ 5.4%	△ 138,547	—	
親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)		△ 1,210,422	△ 18.1%	△ 1,045,723	△ 20.1%	164,698	—	

1

前期の第2四半期の2019年3月16日に開業したムーミンバレーパーク運営による収益費用を期初から取り込んだものの、新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休園や、投資回収の遅れ、子会社減少により、売上高、売上原価ともに減少。企業投資における減損等の評価損は、前第3四半期累計期間の366百万円から18百万円に縮小。

2

メッツァ開業準備費用の負担、その他の一時的費用がなくなる。人件費なども圧縮。前期の第4四半期の連結子会社減少もあり、前第3四半期累計比で28.4%減少。

3

ムーミンバレーパークの臨時休園期間中の固定費（人件費、減価償却費等）等を、臨時休園による損失292百万円として計上。

## 連結業績予想は、メッツァにおけるコロナ禍の影響と投資回収案件の進捗を見極めた後、公表予定

メッツァについては、ムーミンバレーパークが6月4日より営業を再開したものの、7月から8月にかけて再び新規感染者の増加ペースが加速しており、今後も予断を許さない状況。

投資銀行事業における投資回収についても、当期中の回収を目標にコロナ禍以前から取り組んでいる案件があるが、現時点で期中における回収の可否の見極めができていない。



2020年9月期の連結業績予想について、  
現時点で合理的な算出は困難であることから引き続き未定とし、  
予想が可能となった時点で速やかに開示。



# 連結経営指標等の推移

		2015年 9月期	2016年 9月期	2017年 9月期	2018年 9月期	2019年 9月期	2020年9月期 第3四半期
売上高	(百万円)	5,429	7,485	7,182	3,689	9,175	5,196
売上総利益	(百万円)	2,495	1,496	1,626	2,261	2,944	1,670
営業利益又は営業損失(△)	(百万円)	115	△ 1,031	△ 1,319	△ 1,072	△ 1,664	△ 893
経常利益又は経常損失(△)	(百万円)	237	△ 1,369	△ 1,341	△ 1,227	△ 1,850	△ 989
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	(百万円)	224	△ 1,384	△ 1,358	△ 820	△ 1,586	△ 1,045
純資産	(百万円)	7,879	6,312	5,326	8,551	8,873	7,480
総資産	(百万円)	11,958	10,975	12,932	14,016	19,025	16,922
1株当たり純資産	(円)	48.31	38.66	29.64	39.31	37.03	31.77
1株当たり当期純利益 又は当期純損失(△)	(円)	1.48	△ 8.56	△ 8.39	△ 4.79	△ 8.08	△ 5.20
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	(円)	1.47	-	-	-	-	-
自己資本比率	(%)	65.4	57.0	37.1	52.2	39.1	37.8
自己資本利益率	(%)	3.4	△ 19.7	△ 24.6	△ 13.5	△ 21.5	-
株価収益率	(倍)	84.7	-	-	-	-	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 1,791	△ 1,305	△ 1,153	△ 2,978	△ 2,604	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 644	△ 302	△ 1,026	△ 2,008	△ 4,543	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	4,761	△ 751	2,937	5,771	5,710	-
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	4,612	2,240	2,969	3,847	2,513	-
従業員数(連結) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	117(8)	114(20)	143(27)	156(47)	167(262)	150(247)
従業員数(単体) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	38(3)	45(8)	40(6)	38(5)	39(5)	29(4)

# フィンテック グローバル株式会社 会社概要

本店所在地	東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア15階		
設立	1994年12月7日		
代表	代表取締役社長 玉井 信光		
上場日	2005年6月8日		
証券コード	8789 (東京証券取引所マザーズ市場)		
事業年度	10月1日から9月30日まで		
事業内容	①投資銀行事業 ②公共コンサルティング事業 ③エンタテインメント・サービス事業		
発行済株式総数	201,114,600株 (2020年6月30日現在)		
単元株式数	100株		
資本金	6,462百万円 (2020年6月30日現在)		
連結純資産	7,480百万円 (2020年6月30日現在)		
大株主 (2020年3月31日現在)	玉井 信光 (株)CAT-MY	10,095,500 10,000,000	(5.02%) (4.97%)
連結従業員数	150名 (2020年6月30日現在、臨時従業員含まず)		

フィンテック / FinTech (登録5113746)・FinTech Global (登録5811521)・フィンテックグローバル (登録5811522)・FGI (登録5113748)は、フィンテック グローバル株式会社の登録商標であります。

## 免責条項

本資料は、当社およびFGIグループの2020年9月期第3四半期決算に関する情報の提供を目的としたものであり、有価証券にかかる売買、金融商品取引に係る契約等いかなる商品の勧誘をするものではありません。

本資料に記載されている、各種資料・文書には、当社またはFGIグループに関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする歴史的事実以外の事実を記載しているものが含まれていることがあります。これらの歴史的事実以外の事実（以下、「将来情報」ということがあります）の記載は、当社またはFGIグループが入手した情報に基づく、当該資料・文書の日付（または当該資料・文書に別途明示された日付）時点における予測、期待、想定、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・目標設定等を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。したがって、これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的に不正確であり、将来実現しないという可能性があります。その原因となりうるリスクや要因は多数あります。将来情報は、将来発生する事象、リスク、不確実性を内包する要因を含んでおり、そうした前提は、当社またはFGIグループの実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。かかる要因には、日本国、米国、アジアあるいはその他の国・地域における経済状況の悪化、不動産価値または株価の下落、FGIグループの貸出先の産業分野における企業破綻の増加やその他問題の発生、当社の経営統合およびコスト削減期待の実現の困難化または遅延、競争の激化、FGIグループの業務に関わる法令規則の改正、FGIグループにとって不利益となる日本国経済その他の政策の変更が含まれます。

なお、将来情報に関する記述を含む資料・文書が本資料に記載されている間においても、当該将来情報は上記のとおり当該資料・文書の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有していません。